

## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社遠藤製作所

コード番号 7841 URL <http://www.endo-mfg.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 重松 健

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門担当兼経営企画部長 (氏名) 佐藤 俊明

TEL 0256-63-6111

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	2,972	△30.8	56	—	17	—	△44	—
26年3月期第1四半期	4,294	△3.3	△159	—	△18	—	△119	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △128百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 824百万円 (19.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年3月期第1四半期	△5.07	—
26年3月期第1四半期	△13.66	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	18,960	13,214	69.7
26年3月期	18,343	13,350	72.8

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 13,214百万円 26年3月期 13,350百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	6,334	△26.4	△365	—	△386	—	△509	—	△58.36
通期	13,968	△12.2	△343	—	△342	—	△591	—	△67.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	9,441,800 株	26年3月期	9,441,800 株
27年3月期1Q	711,740 株	26年3月期	711,740 株
27年3月期1Q	8,730,060 株	26年3月期1Q	8,730,122 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策等の効果から企業収益や雇用環境の改善が見られ、景気は緩やかな回復基調にあります。海外経済の減速や円安による原材料価格の上昇等の懸念要因もあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、製品開発を強化し、高付加価値製品の供給、新規販路の開拓等に取り組み、受注の獲得に努めるとともに、生産効率向上による製造コストの低減を進めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は29億72百万円（前年同期比30.8%減）となりました。利益面につきましては、営業利益56百万円（前年同期は1億59百万円の営業損失）、経常利益17百万円（前年同期は18百万円の経常損失）、四半期純損失44百万円（前年同期は1億19百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① ゴルフ事業

ゴルフ事業につきましては、海外廉価品との価格競争の中で収益性を見直しを図り、高付加価値製品に受注を集中したことにより受注減となりましたが、一方でタイ工場の生産工程改善による製造原価の低減等に努めた結果、売上高9億32百万円（前年同期比53.1%減）、営業損失1億65百万円（前年同期は4億3百万円の営業損失）となりました。

#### ② ステンレス事業

ステンレス事業につきましては、高付加価値製品の供給に努めるとともに、新規取引先との取引の拡大を図り、売上高3億24百万円（前年同期比9.9%増）、営業利益81百万円（同46.6%増）となりました。

#### ③ 鍛造事業

鍛造事業につきましては、前年同期が自動車購入減税の駆け込み需要の影響等がありましたが、新規受注の獲得、農耕機部品の取扱い拡大に努めた結果、売上高17億15百万円（同14.7%減）、営業利益2億36百万円（同21.4%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、189億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億17百万円増加いたしました。

流動資産は、104億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億88百万円増加いたしました。この主な要因は、現金及び預金が増加したこと等によるものであります。固定資産は、85億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億28百万円増加いたしました。この主な要因は、退職給付に係る資産の増加等によるものであります。

負債合計は、57億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億53百万円増加いたしました。

流動負債は、31億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億30百万円増加いたしました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が増加したこと等によるものであります。固定負債は、26億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億22百万円増加いたしました。この主な要因は、私募債の発行等によるものであります。

純資産合計は、132億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億35百万円減少いたしました。この主な要因は、為替換算調整勘定が減少したこと等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年5月15日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

また、業績予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって記載の業績数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 1. 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算出方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

#### 2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が109,742千円増加し、利益剰余金が70,893千円増加しております。なお、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱いの適用)

当社は、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成25年12月25日)を当第1四半期連結会計期間より適用しております。なお、当実務対応報告適用初年度の期首より前に締結された信託契約に係る会計処理につきましては従来採用していた方法を継続するため、当実務対応報告の適用による四半期連結財務諸表への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	5,193,247	5,615,540
受取手形及び売掛金	2,304,482	2,441,406
商品及び製品	710,700	694,543
仕掛品	524,570	560,489
原材料及び貯蔵品	1,045,028	952,667
繰延税金資産	11,353	4,743
その他	144,228	152,674
貸倒引当金	△10,083	△10,090
<b>流動資産合計</b>	<b>9,923,528</b>	<b>10,411,974</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	2,917,498	2,845,681
機械装置及び運搬具(純額)	2,967,394	2,968,187
工具、器具及び備品(純額)	76,366	85,971
土地	1,725,884	1,718,320
建設仮勘定	34,226	116,058
<b>有形固定資産合計</b>	<b>7,721,370</b>	<b>7,734,218</b>
無形固定資産	15,608	18,316
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	90,112	90,620
繰延税金資産	5,470	5,960
投資不動産(純額)	338,208	337,585
退職給付に係る資産	214,543	327,138
その他	40,842	41,423
貸倒引当金	△6,173	△6,386
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>683,004</b>	<b>796,342</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>8,419,983</b>	<b>8,548,877</b>
<b>資産合計</b>	<b>18,343,511</b>	<b>18,960,852</b>

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,019,147	1,092,102
短期借入金	931,811	930,178
未払法人税等	103,593	117,969
未払金及び未払費用	584,385	593,962
賞与引当金	34,597	112,709
その他	117,106	274,663
流動負債合計	2,790,641	3,121,584
固定負債		
社債	600,000	1,100,000
長期借入金	951,478	855,335
リース債務	266,747	247,248
繰延税金負債	129,435	172,922
退職給付に係る負債	140,496	139,271
役員退職慰労引当金	43,119	40,814
資産除去債務	59,235	59,458
その他	11,562	9,245
固定負債合計	2,202,075	2,624,296
負債合計	4,992,717	5,745,881
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,241,788	1,241,788
資本剰余金	1,189,873	1,189,873
利益剰余金	10,543,866	10,483,209
自己株式	△315,111	△305,625
株主資本合計	12,660,416	12,609,245
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,435	△1,927
為替換算調整勘定	655,322	570,330
退職給付に係る調整累計額	37,490	37,321
その他の包括利益累計額合計	690,377	605,725
純資産合計	13,350,794	13,214,970
負債純資産合計	18,343,511	18,960,852

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	4,294,941	2,972,692
売上原価	4,019,449	2,431,386
売上総利益	275,492	541,306
販売費及び一般管理費	435,407	484,646
営業利益又は営業損失(△)	△159,914	56,660
営業外収益		
受取利息	3,097	6,710
受取配当金	809	1,030
投資不動産賃貸料	4,493	4,493
為替差益	152,272	-
その他	21,414	7,189
営業外収益合計	182,087	19,424
営業外費用		
支払利息	20,420	16,734
減価償却費	5,611	4,107
シンジケートローン手数料	5,616	6,321
為替差損	-	18,531
その他	8,812	12,790
営業外費用合計	40,461	58,485
経常利益又は経常損失(△)	△18,288	17,598
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△18,288	17,598
法人税、住民税及び事業税	69,958	48,639
法人税等調整額	30,996	13,209
法人税等合計	100,955	61,848
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△119,243	△44,249
四半期純損失(△)	△119,243	△44,249



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△119,243	△44,249
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,229	508
為替換算調整勘定	956,317	△84,991
退職給付に係る調整額	-	△169
その他の包括利益合計	944,087	△84,652
四半期包括利益	824,843	△128,901
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	824,843	△128,901
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ゴルフ事業	ステンレス 事業	鍛造事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	1,989,150	294,897	2,010,893	4,294,941	—	4,294,941
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,550	—	—	2,550	△2,550	—
計	1,991,700	294,897	2,010,893	4,297,491	△2,550	4,294,941
セグメント利益又は損失(△)	△403,757	55,773	300,494	△47,489	△112,425	△159,914

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△112,425千円には、セグメント間取引の消去△2,550千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△109,875千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II. 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ゴルフ事業	ステンレス 事業	鍛造事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	932,686	324,115	1,715,890	2,972,692	—	2,972,692
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,550	—	—	2,550	△2,550	—
計	935,236	324,115	1,715,890	2,975,242	△2,550	2,972,692
セグメント利益又は損失(△)	△165,641	81,780	236,040	152,179	△95,519	56,660

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△95,519千円には、セグメント間取引の消去△2,550千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△92,969千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。